

担当部課名	教育委員会 文化スポーツ課	関連部課名	教育委員会博物館 教育委員会庶務課
-------	------------------	-------	----------------------

基本目標	こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】
施策名	文化・芸術
<p>蒲郡独自の文化・芸術活動を守り育てていくために、市民との協働による文化講演事業の充実、市民団体の自主的な活動の支援、郷土の伝統文化や伝統産業の保存・活用、文化施設・設備の計画的な改修などの取組を推進します。</p> <p>施策が目指す蒲郡市の将来の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化・芸術活動が日常に溶け込んでいます。 ●郷土の歴史や文化、産業を学び、蒲郡に誇りを持つ市民が増えています。 	

◆具体化した施策の取り組み実績

1 市民参加型・共催型の文化公演の実施

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
文化公演事業	—	市制60周年記念事業 ミュージカル「葉っぱ のフレディー」 968人 市制60周年記念事業 「ポーランド音楽祭」 500人	—
指定管理者による自主事業	市民会館まつり 4,300人	市民会館まつり 4,700人	市民会館まつり他 5,000人
	クリスマスジャズライブ 239人	クリスマスジャズライブ 311人	クリスマスジャズライブ 300人
図書館文学講座(図書館学びの講座)	講演:はじめての川柳 講師:鈴木順子 70人	講演:昭和なるほど講座 講師:佐藤 力 50人	講演:図書館文学講座 講師:関かいせ屋、けいたろう 70人

2 郷土の伝統文化の保存と活用

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
コミュニティー活動事業	形原1区町内会七福神踊継承等	西町町内会祭礼用山車修繕	奥林常会神楽獅子装備品等整備
文化財保護事業	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助

3 文化財の活用と市民団体との連携

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
史跡天然記念物整備事業	門前遺跡確認調査	大クス支柱取替	第8次上ノ郷城跡発掘調査
上ノ郷城跡を愛する会	観月会・ 親子ウォーキング(雨天中止)	観月会・歴史ウォーキング	観月会
清田の大クス愛好会	土壌改良	土壌改良	土壌改良

4 文化施設の充実と改修計画の策定

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
市民会館修繕及び工事	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水工事 ・大・中ホールホリゾン幕等取替工事 ・東ホール遮光カーテン取替工事 ・消防進入口扉取替工事 ・消防設備改修工事 修繕8件	<ul style="list-style-type: none"> ・地下コントロール室操作盤更新事業 「監視操作盤調査設計委託」および「監視操作盤更新工事」 ・粉末消火設備用直流電源装置等更新工事 ・エレベーター制御用基盤等取替工事 ・大・中ホール客席手摺設置工事 ・レストラン厨房給湯器設置工事 ・レストラン厨房給水管改修工事 ・レストラン厨房電気工事 ・中ホール調光設備開数発生器取替 修繕 ほか・修繕7件	<ul style="list-style-type: none"> ・給水設備等改修工事 ・受変電設備改修工事 ・東ホール等音響設備改修工事 その他工事及び修繕
	事業費 76,812千円	事業費 24,396千円	事業費 22,300千円
市民会館の改修計画の策定	公共施設見直し検討委員会立ち上げ	建物耐震診断の実施	公共施設見直し検討委員会での検討
図書館蔵書・資料の充実	年度末 282,280冊	年度末 287,547冊	年度末 285,000冊見込
図書館整備計画の策定	教育施設整備事業基金活用検討会立ち上げ	—	—

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
市民参加型・共催型の文化公演参加率	目標値		80%	80%	90%
	実績値	84%	86%		平成32年度
郷土の伝統文化の保存と活用経費	目標値		4,100千円	3,600千円	3,500千円
	実績値	3,077千円	3,364千円		平成32年度
文化財保護費と市民団体との連携経費	目標値		2,287千円	1,991千円	3,500千円
	実績値	1,461千円	1,474千円		平成32年度
図書館蔵書・資料数対前年度比	目標値	99.0%	99.0%	99.0%	100.0%
	実績値	100.5%	101.9%		平成32年度
図書館文学講座参加率	目標値	75%	75%	75%	80%
	実績値	70%	50%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
市民参加型・共催型の文化公演参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度などを測る。
郷土の伝統文化の保存と活用経費	当該年度の文化財保護事業費補助金。
文化財保護費と市民団体との連携経費	当該年度の文化財保護事業費(補助金を除く)。
図書館蔵書・資料数対前年度比	前年度に対する蔵書・資料数の割合。安定した数の蔵書・資料の確保ができているかどうかを検証。
図書館文学講座参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度などを測る。

◆指標の分析

・「市民参加型・共催型の文化公演参加率」－文化公演事業については、民間主導で実施するべきとの考えから、その一つとして、平成22年度より指定管理者による自主事業を行ってきた。近年は、利用者の声を聞く等しながら内容を充実させつつあり、少しずつではあるが数字に表れ始めている。また平成26年度は市制60周年記念事業として公演事業を実施したが、一定の集客を図ることができた。

・「郷土の伝統文化の保存と活用」－伝統文化の保存については、補助金交付申請に対し、市予算および助成金をもって対応し、一定の水準を保つことができている。活用については、3月に開催した「愛知県民俗芸能大会蒲郡市大会」に、市内より1団体が参加した。

・「文化財の活用と市民団体との連携」－観月会は地元が月見団子を提供してくれるなど、恒例行事として根付いてきている。史跡天然記念物整備事業については、清田の大クスの土壌改良事業、支柱付替等を行った。

・「図書館文学講座(図書館学びの講座)参加率」－講座日程については、事前に他イベントの情報収集心掛け、図書館らしい講師人選を行うことで、講座の人気度を高める。

・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－図書館蔵書・資料数という量的な部分については対応できている。利用者アンケート結果を参考にした蔵書・資料購入を心掛けるとともに、公共図書館としての役割を果たすようにバランスの取れた蔵書・資料購入に留意する。

◆今後の方針

施策の課題	<ul style="list-style-type: none">・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－平成22年度より市民会館の指定管理者による自主事業を行ってきた。従来は指定管理の余剰金を充てる形での実施であったが、平成26年度の指定管理者更新からは自主事業の実施も含めて指定管理業務を行っており、今後は自主事業内容や実施事業数の充実が図られると考えられる。・「郷土の伝統文化の保存と活用」－大規模かつ緊急性の高い修繕が必要となった際、地元資金や市の補助金だけで賄えるかどうか懸念される。また、文化財指定を受けていない団体については、現況の把握が十分ではない。・「文化財の活用と市民団体との連携」－案内看板設置が行われた上ノ郷城跡について、今後どのように保存・活用を図るか検討を要する。・「市民会館の修繕・工事費」－市民会館についてはホール棟の耐震補強工事、及び大規模な改修が必要となり、多額の予算措置を伴うため、文化スポーツ課が単独で改修計画を策定することは出来ない。・「図書館文学講座参加率」－図書館らしい講師人選と参加者のニーズに留意し、講座の人気度を高める。・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－公共図書館としての役割を果たすために全ジャンルに渡るバランスの取れた蔵書・資料購入に留意する。
-------	--

今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none">・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－平成22年度より市民会館の指定管理者による自主事業を行ってきた。現在の指定管理においては、自主事業の実施を前提に指定管理を委託しており、自主事業内容や実施事業数について充実が図られるよう協議をしていく。・「郷土の伝統文化の保存と活用」－文化財指定を受けていない保存会等の状況についても情報を集め、国・財団等の補助・助成事業の活用を図る。・「文化財の活用と市民団体との連携」－ポスター掲示による呼びかけやロコミなどにより、会員の新規加入を図るとともに、市民団体との連携を深めて文化財の保護・活用を進めていく。・「市民会館の修繕・工事費」－市民会館については大規模な改修が必要となり、多額の予算措置を伴うため、文化スポーツ課が単独で改修計画を策定することは出来ない。・公共図書館としての役割に留意するとともに、安定した図書館運営により、市民のニーズにより一層応えられるようにする。
---------	---

課長評価 (文化スポーツ課)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	市民会館を始めとする文化施設は老朽化が進んでいるため、市民が快適に利用できるよう施設の改修・整備が必要である。平成26年度に実施した耐震診断の結果、ホール棟の耐震補強の必要性が指摘されたことも踏まえ、公共施設見直し検討委員会において、早期に改修・整備計画を構築することが必要である。 文化公演事業は行革委員会でも指摘があったとおり、民間主導での開催を目指し、市民会館の指定管理者・文化協会等との連携を引き続き図っていく方針である。また、公募のある公演事業については、市が関わるべきと判断した場合は積極的に動いていくが、定期的ではないため詳細な予定を立てることは難しい。
課長評価 (博物館)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	郷土の伝統文化については、伝統文化の基本心情を大切に考えたうえで、後継者の確保・育成のための取り組みを支援することが求められている。文化財の活用と市民団体との連携については、文化財保護を啓蒙する中で公開の機会を増やすとともに、市民団体との協力を深めつつ共に活動して、積極的かつ主体的に参加できる活動の枠組みを構築する必要がある。
課長評価 (庶務課)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	A: 現状のままでよい。
	コメント	図書館は、市民のニーズが高い施設であり、その整備についても期待が大きいものと思われる。そのことも踏まえながら、公共施設白書を活用し、本市全体の公共施設のあり方について検討していくなかで、検討していきたい。
部長評価	施策の 進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	文化・芸術は市民から醸成されるものであり、行政が担うべきものは、活動や発表の機会や場所を提供し、市民または市民団体の活動が活発に行えるように協力、調整などを行うことであり、この点については一定の成果があがっている。しかし、施設の面では、市民会館、図書館を始めすべての施設において老朽化が進み、大きな課題となっている。公共施設見直し検討委員会検討の方針に沿った整備計画を早急に策定する必要がある。